

8月8日(金)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ

日刊サマーミュージア

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

鮮烈!九響!堂々たる名演



8/7 九州交響楽団

© 平舘平

各地から招かれるゲスト・オーケストラを聴くのもこの音楽祭の大きな楽しみのひとつ。今年のはるばる福岡から九州交響楽団がやってきた。指揮は若き首席指揮者の太田弦。これが九響サウンドか!と唸られる鮮烈な演奏を披露してくれた。

幕開けを飾ったのは楽団の委嘱作である小出稚子作曲の「博多ラプソディ」。当地の祭りを題材に民謡を現代的な書法を用いて再構築した清新な楽曲で、楽団の財産といってもいいだろう。締め「博多手一本」のリズムがキマっている。

続くビゼー「カルメン」からの抜粋では、ソプラノの高野百合絵が見事な歌唱を披露。オーケストラのコン



© 平舘平

サートでありながら、高野が登場すると場内の空気は一変、瞬時に劇場の雰囲気へ。これぞカルメンという妖艶さ。役柄にふさわしく豊かで深みのある声で、聴衆をオペラの世界へと誘った。

後半はショスタコーヴィチの交響曲第5番。同曲に「カルメン」の引用があることを示唆する冴えたプログラムだ。体制批判なのか、プロパガンダなのか、はたまた愛の音楽なのか。いまださまざまな解釈により議論を呼ぶ問題作だが、いざ曲が始まってみれば、純然たる音のドラマが圧倒的な説得力で迫ってくる。九響の切れ味鋭く明瞭なサウンドと磨き上げられたアンサンブルが、苦悩も祈りもユーモアも勝利も敗北も包摂した広大な音楽世界を描き出す。盛大な喝采の後、拍手が止まらずにマエストロのソロカーテンコールに。これは客席の九響最良に留まるものではなく、堂々たる名演の証と見るべきだろう。

(音楽ジャーナリスト 飯尾洋一)



指揮：太田 弦 ソプラノ：高野百合絵
コンサートマスター：西本幸弘

ご来場者の声

繊細かつ迫力のある九響サウンドを堪能しました。「博多ラプソディ」は初めて聴きましたが、面白い曲でした。ショスタコーヴィチも感動的な熱演でした。九響にはまたサマーミュージアに来てほしいと思います。(50代・会社員・ドラネコウクレレ) / 九響初ミュージアということで福岡から遠征しました。プリリアントで熱い九響サウンドをヴィンヤードのホールで聴くことができて感激です。(匿名) / 九響ってどんなもんだろ、と軽い気持ちで聴いていたが、その熱演にどんどん引き込まれていき、もう感動! 最後まで拍手している自分がいた。新たなオケとの出会い、これもサマーミュージアの魅力ですね。(60代・えいじ) / 可愛いお顔の太田さんの指揮は、きびきびしたペンギンさんのようでした! (会社員・京子) / ウワサより熱すぎる九響の演奏! 妖艶であまりに熱情的な高野百合絵さんの歌唱! 奇跡的な一夜に遭遇できたことが幸せ。(30代・団体職員・ぼんちゃん) / サマーミュージアに九響! 嬉しすぎます。高野百合絵さんの魅力に終始メロメロでした。太田弦さん率いる九響の響きも素晴らしく、いつか九響を聴きに福岡へ行きたいと思いました! (自営業・memo) / カルメンとタコ5に繋がりの謎があるとのことですが、まさか同日のプログラムで一緒に聴けるとは! 謎は解けませんでした。高野百合絵カルメンの心とろかすようなハバナレと、九響のエネルギッシュな演奏が聴けて大満足でした。(70代・ストーン)

フェスタ・サマーミュージア KAWASAKI 25

明日の公演情報

日本フィルハーモニー交響楽団

8/9 (土) 15:00開演 (14:20~プレトーク)

指揮：下野竜也
チェロ：宮田 大 *

- 小山清茂：管弦楽のための鄙歌 第2番
- サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第1番*
- ドヴォルザーク：交響曲 第8番

S席・A席 完売 ※本日14:00現在の情報です
B席 4,000円 ※最新情報は公式サイトをご確認下さい
U25 (小学生以上25歳以下)：B席のみ 2,000円

TEL・WEB予約 当日14:00まで

当日券カウンター 販売無し 無くなり次第終了!



© 山岸伸



© 日本コロムビア

出張・サマーミュージア@しんゆり!

パシフィックフィルハーモニア東京

8/9 (土) 15:00開演

指揮：飯森範親 ヴァイオリン：鈴木 舞 *
司会：松本志のぶ

- サラサーテ：カルメン幻想曲 *
- スメタナ：『わが祖国』から「モルダウ」
- チャイコフスキー：『くるみ割り人形』から 他

全席指定 4,000円 U25 2,000円
こども (4歳~中学生) 500円

TEL予約 8/8(金)18:00まで

WEB予約 8/8(金)23:59まで

当日券カウンター 当日14:00より

※ご注意下さい!!
会場：昭和音楽大学テアトロ・ジョーリオ・ショウワ (新百合ヶ丘駅徒歩4分)



© 山岸伸

オルガンの魔術師、ふたたび

2023年公演で大好評を博した「オルガンの魔術師」イヴ・レヒシュタイナーが、ふたたびミュージザ川崎シンフォニーホールに登場します。さらに今回は「ジャズピアノの魔術師」宮本貴奈との共演が実現！前半はオルガンソロ。バッハとデュリュフレを取り上げ、バロックからモダンまでパイプオルガンの多彩な音色をたっぷりと聴

かせてくれます。後半はいよいよデュオでの演奏を披露。パット・メセニーのミヌアーノに始まり、展覧会の絵、ラプソディー・イン・ブルーと、誰もが知る有名曲の数々に二人の魔術師がどんな魔法をかけてくれるのか、期待は高まるばかりです。

一夜限り、ミュージザだけの特別なコンサートを是非、ご堪能下さい。
(事業企画課・SG)



イヴ・レヒシュタイナー

©Alexandre Ollier



ピアノ：宮本貴奈

©Toshiya Suzuki

イヴ・レヒシュタイナー
パイプオルガン・リサイタル feat. 宮本貴奈

2026.2.21(土) 16:00開演

パイプオルガン：イヴ・レヒシュタイナー
ピアノ：宮本貴奈

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ BWV541

デュリュフレ：組曲 op.5

ムソルグスキー：展覧会の絵 (feat. 宮本貴奈)

ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー (feat. 宮本貴奈) 他

当初発表の時間より
変更になりました。11/13(木)
発売！

全席指定 ¥4,000 U25(小学生~25歳) ¥1,500

オリジナルグッズ
好評発売中A4 クリアファイル
税込 ¥330 (税別 ¥300)

【サマーミュージザ期間限定】ホー

ル内ショップ・ホール2 F ホフ

イエ他にてお取扱い中

【数量限定】サマーミュージザ扇子

税込 ¥1,980 (税別 ¥1,800)



パートナーショップのご紹介

エンジョイ!
川崎!!

Enjoy Kawasaki



グリルチキンの彩りサラダ

濃厚クリーミーな食べるクラムチャウダー
ともに1,419円(税込)

なんて幸せ!焼きたてパン食べ放題

美味しそうなパンの香り…店内には15種類ほどのパンがずらりと並んでいました!午前中に力仕事を済ませ、腹ペコな私たちにとってなんと眼福な光景…!ランチはメインを選ぶとパン食べ放題もセット♪カリッと焼かれたチキンを乗せたサラダは安定の美味しさでカロリーを気にせずパンを堪能できます。

冷房で冷えた体にはクラムチャウダーがおすすめ!パンも楽しめる量のペンネも入っていました。チリンチリン♪とベルが鳴るとパンが焼き上がった合図、タイミングが良ければほかほかのパンが食

べられます。気が付いたらなんと!!2人で30個以上のパンをたいてしまいました(笑)ぜひコンサートとはしごして耳もお腹も満してみてはいかがでしょうか
(アルバイター 金の村ダ)

ビストロ 309

B ラゾーナ川崎プラザ4F

パートナーショップ特典

お土産パン3個

※「優待チラシ」持参者のみ ※営業時間内は終日可

フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ

で検索&投稿

お待ちしております!



X: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki



YouTube: @kawasakisymhall

ふと、耳にした一曲に心を奪われたことはありませんか?言葉では伝えきれない想いが、音の中にすっと溶け込んで届いてくる。音楽には、そんな不思議な力があると思います。忙しい毎日のなかで、私たちはただ「心のゆとり」を持てているのでしょうか。

音楽は、静かに、優しく、そのゆとりを思い出させてくれます。通勤時に聴こえてくるストリートピアノの音色、夜道でふと耳にする旋律——何気ない日常が、音楽によってふっとやわらかく瞬間があります。音楽があるだけで、心がほぐれ、人と人の距離が少し近づくような気がします。私はそんな音楽の力に、何度も救われてきました。そして今、その音楽の魅力を届ける場所として、ミュージザ川崎シンフォニーホールという素敵な空間と出会いました。夏の暑さが続くこの季節、涼しく快適なホールで、音楽に身をゆだねてみませんか。その音が誰かの心にそっと届きますように——そんな願いを込めて、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

(レセプションリスト)

スタッフ日誌